

えんちょうのふでばこ



— 幼稚園の教育とは？—その2.
何故「幼稚園」なのか？

幼稚園は、一人一人の子ども達に必要な教育（時間を含む）を提供して行きたい。

文部科学省「幼稚園教育要領」は時代が変わっても教育哲学的にかなり自由に解釈ができるから素晴らしい。だから私は、幼稚園が好きだ。そして、行政の都合に従わない施設でもあり続けられる。今、親が、社会が見直さなければならぬ大切なテーマは、「子どもの存在」ではないか。

「子ども家庭庁、子ども真ん中社会」とは言え、その財源は厚生労働省であり、その政策も必ずしも子ども中心とは思えない。この社会の真っ只中の子ども達の現実を見るにつけ、日本の将来を案じる。保護者が園に来て下さる時の子ども達の笑顔と言ったらない。

保護者の皆様方と交流ができてこそ幼稚園の教育は成り立つ。このような交流によって、教諭達も初めて一人一人の子どもの様子が真に理解できる。

子どもが子どもらしく子ども達の育つ時代には是非「時間」という名の投資をお願いいたします。



4/11(金) ⇒

教諭とバス運転
担当者が救命救
急講習を受講し
ました。

